「しんぶん赤旗」（2012年3月28日付）

会委
議特
都予

都民生活守る立場に

組み替え動議 大山議員が提案説明

日本共産党の大山とも子都議は27日の都議会予算特別委員会で、都2012年度一般会計予算案の組み替え動議と、中央卸売市場会計予算案の修正提案の説明を行いました。

予算組み替え案について趣旨説明する大山都議＝27日、都議会予算特別委

大山氏は「今都政に求められることは東日本大震災と原発事故という大惨事を教訓に、防災や放射能対策、原発ゼロへ再生可能エネルギー対策の抜本拡充対策に取り組み、重大な困難に直面する都民生活を守るため福祉や暮らし、中小企業対策の充実に力を尽くすこと」だと強調。都予算案は防災・放射能対策も福祉・教育・暮らしも不十分な一方、20年オリンピック招致や東京外郭環状道路、巨大港湾建設に巨額の財源をつぎ込もうとしていると批判しました。

組み替え案が大型開発や浪費にメスを入れて一般会計予算の3％を組み替えるものと紹介。東日本大震災を受けた防災対策を予算案の5割増、放射能対策を8倍化するのをはじめ、福祉保健費は645億円増で国民健康保険料を1世帯5000円、後期高齢者医療・介護保険料を1人500円引き下げ、中小企業振興費など145項目の予算を増額したことを示しました。

大山氏は市場会計予算修正案について、豊洲新市場予定地の汚染対策工事費を削除しても築地市場などの必要な修繕や業者支援、運営に支障をきたさないと述べ、「食の安全が何よりも求められる生鮮食品を扱う市場用地として、猛毒物質で汚染された土地など許されない。関係者の英知を結集し、現在地再整備へ踏み出すべきだ」と訴えました。